

1 期待する生徒像

<p>中学校の学習成果をもとに、本校の総合学科（文理・園芸・畜産・土木・調理系列）において、次のア、イ、ウに示すとおり、目的を持って学校生活を意欲的に過ごす意志のある生徒</p> <p>ア 本校の学習内容に興味・関心を持ち、授業に主体的に取り組む</p> <p>イ 本校で学ぶ専門的な知識・技能を将来に積極的に生かそうとする</p> <p>ウ 中学校において特別活動・部活動等に一生懸命に取り組み、入学後も継続して活動しようとする</p>

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査（面接）	受検者1名・評価者2名の個人面接 検査時間：1名7分程度

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	0点の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書〔155点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限20点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が10日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点（上限20点）する。
オ 総合所見	総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査（面接）〔40点満点〕

2名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを5点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各20点満点）を合計し、得点化する。評価にcが1つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 中学校時代の取り組み状況	中学校時代を有意義に過ごせた。 具体的な活動・体験に基づいて答えられる。
イ 志望動機	志望の動機が明確である。
ウ 将来の進路に対する目標・取り組み	将来の進路についてしっかりした考えや目標を持っている。 進路実現のために具体的な取り組みを考えている。
エ 服装・態度・礼儀	基本的な礼儀作法が身についている。 服装・頭髪等身だしなみが整えられている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定（K=1）	加点	面接	
500点	135点	20点	40点	695点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはない。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。